

行政デジタル改革共創会議
協賛企業様向け事前案内
(第1.1版 2023年8月13日更新)



BEYOND 2025

本資料の説明

本資料の説明

本資料は協賛企業様(スポンサー)に向けて発出する文書のうち、#1「事前案内」に相当します。本資料を元に各企業様内での検討開始をお願いいたします。

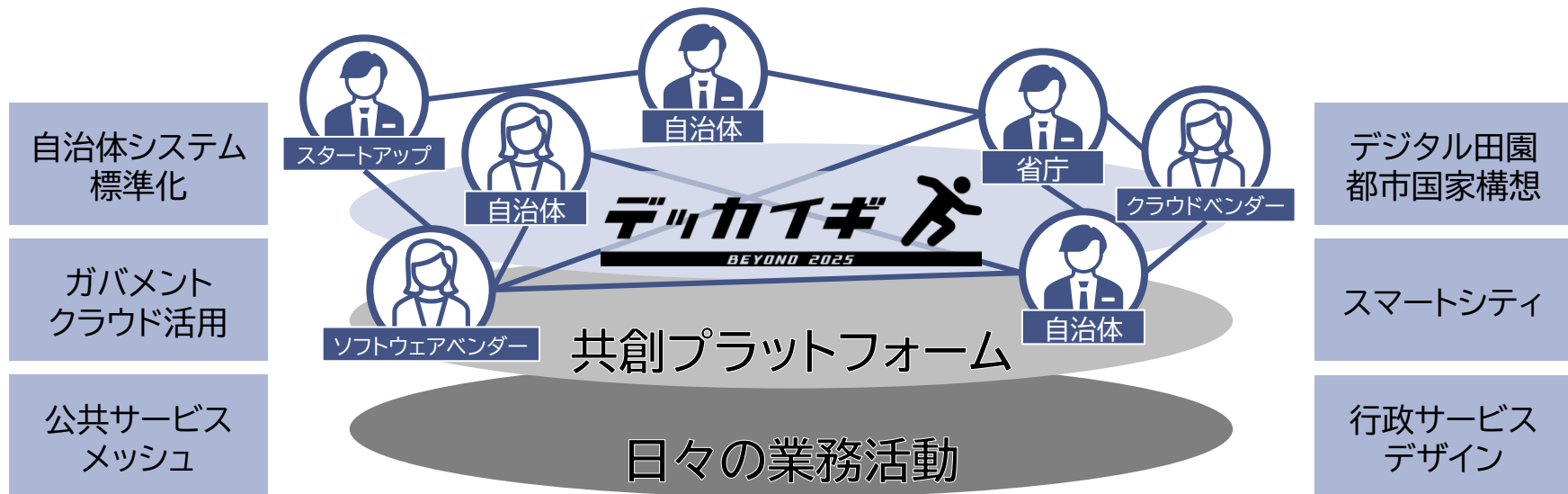
#	資料名	提供時期(目安)	資料の説明
1	事前案内 (本資料)	2023年8月～	<ul style="list-style-type: none">各企業様が社内にて協賛を検討するための資料です実行委員会立ち上げ期につき、企画詳細や協賛金金額は一部変更の可能性があります
2	協賛依頼書	2023年9月～	<ul style="list-style-type: none">各企業様に正式に協賛を依頼する際の資料です
3	参加案内	2023年10月下旬～11月	<ul style="list-style-type: none">参加が確定した企業様に向けて、ブースやセッションの取り扱いを案内します

デツカイギの説明

行政デジタル改革共創会議(デッカイギ)企画趣旨



国と自治体による行政デジタル改革の取り組みには、多様なステークホルダーの連携が不可欠です。デジタル改革共創プラットフォーム等による連携を更に促進させるため、オフライン企画として本イベントを開催します。



- ・ 「デジタル改革共創プラットフォーム」の参加者にも呼び掛けて企画します
- ・ 自治体を中心とするステークホルダーが一堂に集まることで、より一層の連携促進を目指します

行政デジタル改革共創会議(デッカイギ)開催概要



開催概要については、以下を予定しております。

イベント名	行政デジタル改革共創会議 in 羽田 (略称:羽田デッカイギ)
日程	2024年1月5日(金)・1月6日(土)
会場	羽田イノベーションシティ内 コングレクスエア羽田 (〒144-0041 東京都大田区羽田空港1丁目1-4)
主な参加者	基礎自治体・広域自治体・中央省庁の職員、協賛企業の社員、招待者
参加規模	400名

本イベントは、行政デジタル改革に関する非営利のカンファレンスです

運営体制



運営体制については、以下を予定しております。

主催	<p>行政デジタル改革共創会議実行委員会(デッカイギ実行委員会) 実行委員長 庄司 昌彦 (武蔵大学)</p> <p>庄司先生を中心としたボランティア有志による実行委員会方式にて運営します 実行委員会の運営メンバーは現在調整中です</p>
事務局	<p>特定非営利活動法人 Digital Government Labs</p>
後援・協力	<p>開催地自治体として、大田区役所様にご協力いただいております また、他昨年度同様に行政デジタル改革に係る官公庁の後援を申請予定です</p>
WEBサイト	<p>https://www.dekaigi.org/</p>

参考:昨年度横須賀デツカイギの実績

昨年度は横須賀リサーチパーク約300人の参加者(協賛企業の参加者含む)と共に、主催者企画・公募企画を行いました。昨年度協賛いただいた企業の皆様に、改めて感謝申し上げます。



河野デジタル大臣と



公募企画

詳細はP21以降を
ご覧ください



主催者企画



BoF(車座対話)

参考:<https://www.dgl.jp/posts/40728947>

今年度会場の説明

羽田イノベーションシティ(HICity)



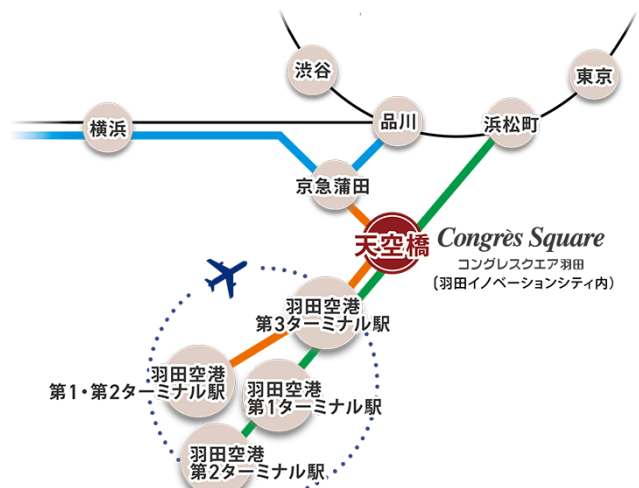
今年度は羽田空港横(天空橋駅最寄り)に新設された、羽田イノベーションシティ内「コングレスクエア羽田」での開催を予定しています。



羽田イノベーションシティ(HICity)アクセス



今回は大田区役所様のご支援の元、羽田イノベーションシティにて開催します。

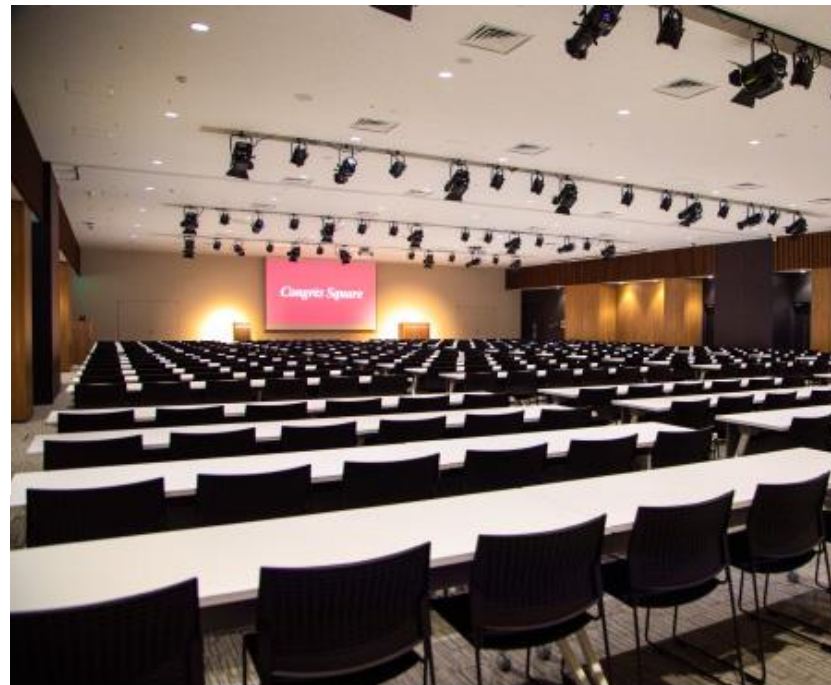


- JR線
 - 京浜急行電鉄空港線
 - 京浜急行電鉄本線
 - 東京モノレール羽田空港線
- 京浜急行電鉄空港線・東京モノレール 「天空橋」駅より徒歩 2分
- 【天空橋駅まで】
- 「品川」駅より 13分
 - 「羽田空港 第3ターミナル」駅より 1分
 - 首都高速1号羽田線「羽田IC」より 3分



羽田イノベーションシティ内の地図 (コングレスクエア羽田の所在地)

今回は羽田イノベーションシティ内ゾーンJにある「コングレスクエア羽田」にて開催します。



メインホール

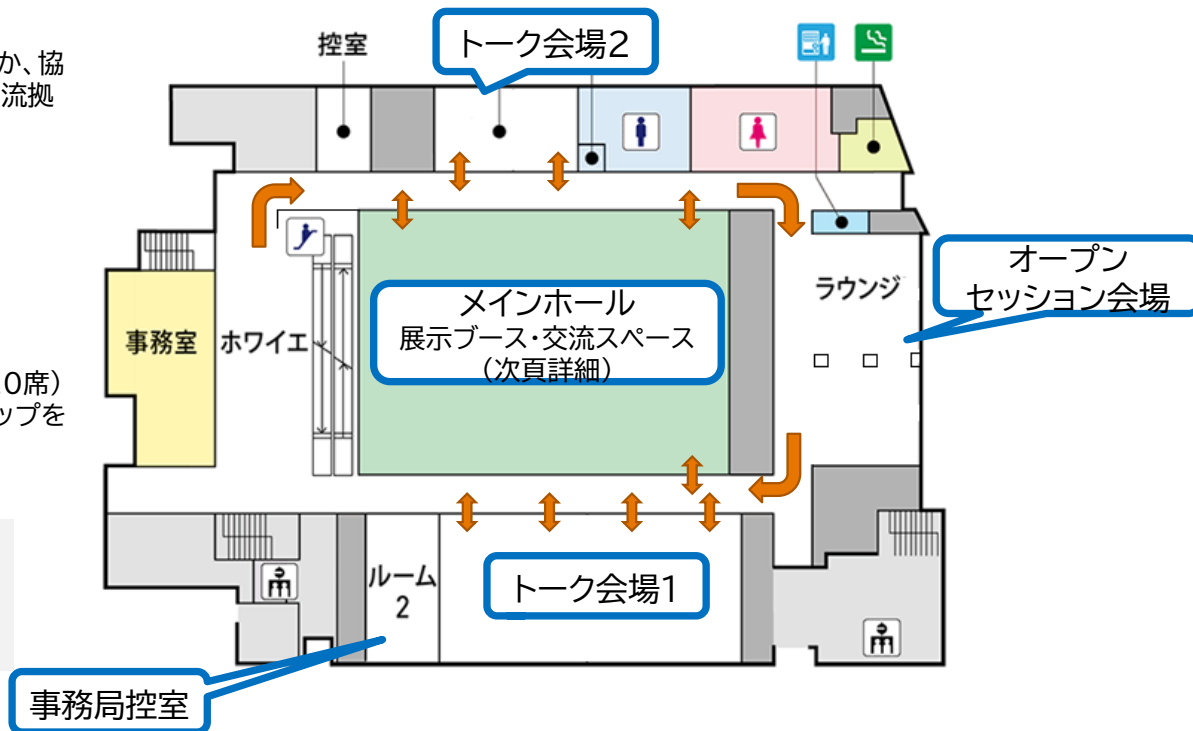
参考:<https://congres-square.jp/haneda/>

コンgresクエア羽田の内部図面

コンgresクエア羽田は、約400人を収容可能なメインホールと3つの会場を持ち、多くの集客と交流接点の創出を目指しています。

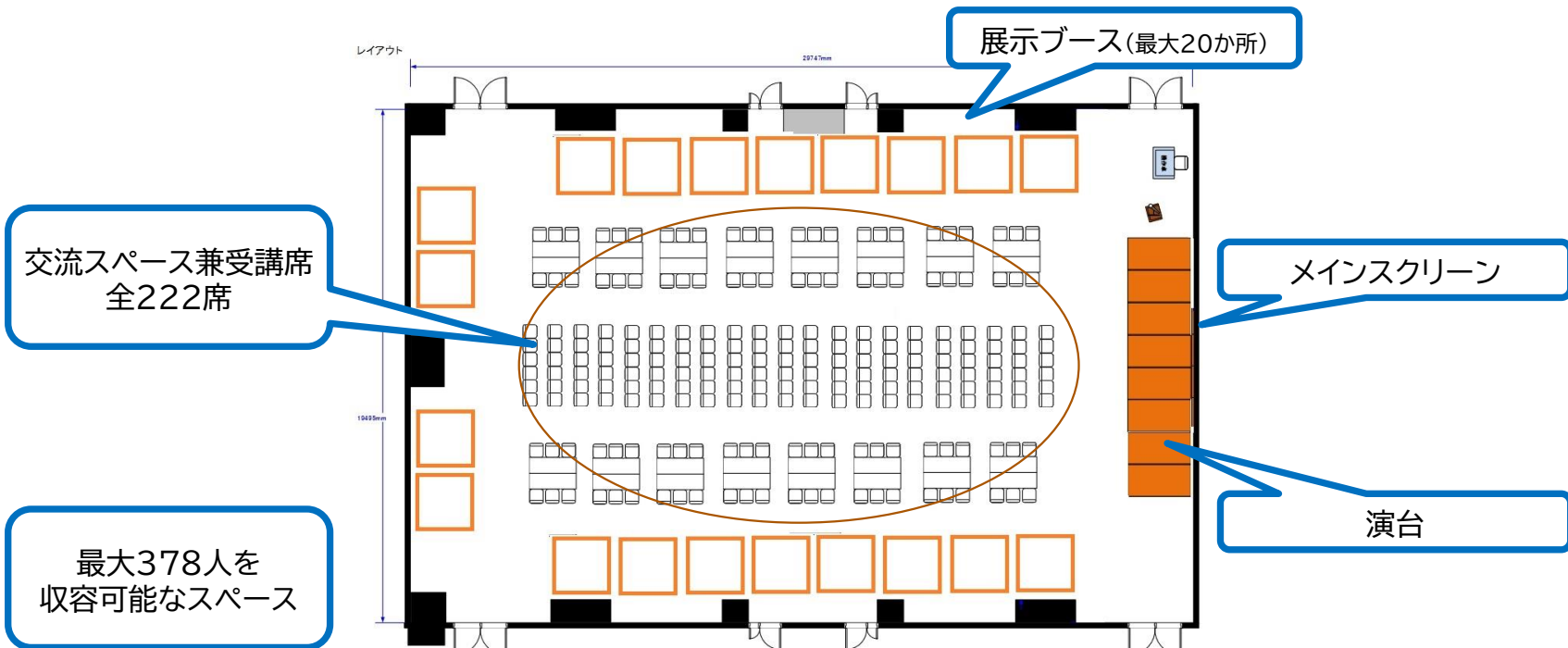
- ・メインホール(最大収容席数378席)
全体集合イベント・基調講演で利用するほか、協賛企業ブースと交流スペースを常設し、交流拠点とします。
- ・トーク会場1(最大収容席数266席)
講演やワークショップを行う会場です。
- ・トーク会場2(最大収容席数64席)
講演やワークショップを行う会場です。
- ・オープンセッション会場(最大収容席数120席)
誰でも参加できるスペースで、ワークショップを始めとした交流イベントを行う会場です。

補足：
昨年度ご意見等に基づき、
公務員限定セッションのあり方については
鋭意検討中です



メインホール図面案

メインホールは全体集合イベント・基調講演で利用するほか、協賛企業様の展示ブースと交流スペースを設置し、自治体職員同士および協賛企業参加者様との常設の交流拠点とします。



協賛プラン(案)の案内

協賛プラン(案)の概要説明

各ランクについては、上限がありますのでご了承ください。

	プラチナ 6団体まで	ゴールド 14団体まで	シルバー 5団体まで	シルバー(非営利) 3団体まで
現地への参加	5名迄+OP	4名迄+OP	2名迄	1名迄
スポンサー企画セッション	セッション1枠※1	—	—	—
簡易展示ブース設置 (メインホールの1コマブース)	有	有	—	—
聴講用URLの共有 (公務員専用イベントを除く)	有	有	有	有
協賛金※2	200万円(税別)	150万円(税別)	50万円(税別)	15万円(税別)
参加者追加オプション※3	一人当たり20万円 (税別)	一人当たり20万円 (税別)	—	—
グッズ追加オプション	イベントグッズ(ネックストラップ、バック)のオプションを募集しています(会社名・ロゴが入ります) 制作費用はスポンサー負担(先着2社まで) グッズ追加オプションは廃止します			

※1: セッションの内容は、原則各企業様にお任せしますが、デッカイジの趣旨に添った内容であるか等確認・審査する旨ご了承ください

※2: 実行委員会立ち上げ期につき、協賛金額等は一部変更の可能性があります(正式には8月下旬~9月頃にご案内予定、変更時は下方修正の見込みです)

※3: 今後、参加者の構成比を鑑み、参加者追加オプションには上限を設けます(具体的には同一企業から10名を大幅に超える参加申し込みがある場合を懸念)

スポンサー企画セッションの案内(プラチナプラン限定)



「PRタイムよりも交流の場を増やしてほしい」との昨年度意見を受け、協賛企業様が自由に企画運営できるセッション枠※1に変更しました。

スポンサー企画セッションの説明

- トーク会場1、トーク会場2、オープンセッション会場等にて45分程度のイベントを開催できます※2
- 講演会・意見交換会・自治体職員交流会等、セッションの内容は、協賛企業様が自由に企画運営できます
(但し、製品紹介のみのような営業行為一遍の企画は実行委員会より助言をさせていただくケースがあります)

スポンサー企画セッションの例

- 例①
CSP企業を招いて、参加した自治体様とガバクラ構成案の検討会の開催(ASP企業様の場合)
- 例②
自治体職員に登壇いただき、事例紹介および意見交換会を開催
- 例③
法改正等の勉強会および開発・導入等に関する意見交換会の開催

※1: セッションの内容は、原則各企業様にお任せしますが、デッカイギの趣旨に添った内容であるか等確認・審査させていただきます旨ご了承ください

※2: セッション会場は、現時点で確約できるものではありません(但し、オープンセッション会場以外の会場を選択するケースは想定しております)

申込方法等

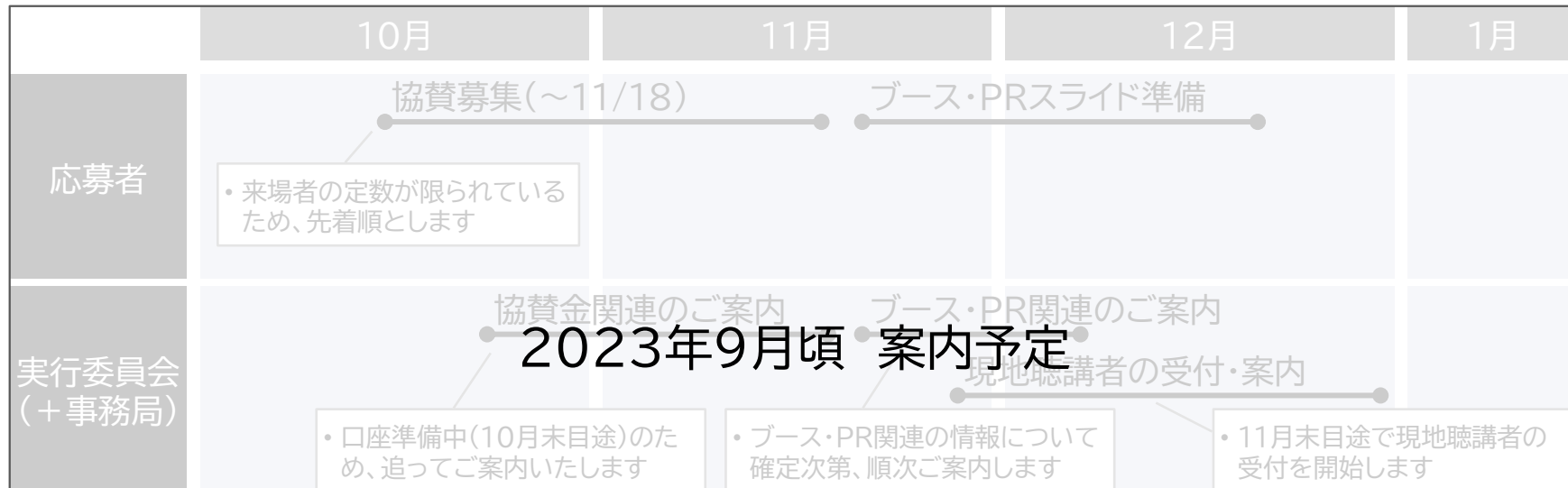


協賛の申込方法等については、以下のとおりです。

申込方法	以下の申込フォームよりお申込ください。 折り返し事務局よりお手続きについてご案内いたします。
申込フォームURL	https://forms.office.com/r/XXXXXXXX
申込期限	2023年9月頃 案内予定
申込留意事項	行政デジタル改革に紐づくイベントのため、 請求書・領収書は原則PDF発行を予定しております。
その他 お問い合わせ先	その他お問い合わせは、以下メールアドレスまでご連絡ください。 info@dekaigi.org

手続きの流れ

手続きの流れについては、以下を予定しております。



協賛金関連のご案内に関する補足

- ・ 協賛ロゴのWEBサイト掲載については、協賛契約書の代わりに承諾書をご提出いただきます
- ・ 振込口座のご案内として、請求書をお送りいたします
- ・ 協賛金の振り込みを確認ののち、領収書をお送りいたします

災害等が発生した際の免責事項(案)

災害等により、イベントが予定どおり実施できなかった場合の免責事項としては、以下を検討しております。

想定するリスク

実行委員会に起因せずデッカイギの開催や集客が困難となるリスク
(具体的には地震、天候不良、感染症拡大、テロ行為、交通機関の大規模停止等)

免責の取り扱い

- イベント中止時
必要経費を精算した後、残金を返却する
- イベント延期時
免責とする
- 開催方法変更時(リモート)
免責とする

参考資料

行政デジタル改革共創会議 昨年度開催報告

(2023年1月6～7日開催 横須賀デツカイギ(第1回))

デツカイギ 

BEYOND 2025

2022年度開催概要



2022年度は次の企画概要で開催しました。

イベント名	行政デジタル改革共創会議 in 横須賀 ～ビヨンド2025 トータルデザインを乗り越なせ～ (略称:横須賀デッカイギ)
日程	2023年1月6日(金)・1月7日(土)
会場	横須賀リサーチパーク YRPセンター1番館 (〒239-0847 神奈川県横須賀市光の丘3番4号)
主な参加者	基礎自治体・広域自治体・中央省庁の職員、協賛企業の社員、招待者
参加規模	約200名

本イベントは、行政デジタル改革に関する非営利のカンファレンスです

2022年度協賛企業(1/3)

2022年度は次の協賛企業の皆様にご支援いただきました。改めてお礼申し上げます。

プラチナスポンサー



RKKCS

vmware[®]

SB Technology

 **TKC**

FUJIFILM
富士フイルムシステムサービス株式会社

Deloitte.
デロイトトーマツ

2022年度協賛企業(2/3)

(前頁続き)

ゴールドスポンサー



東京海上日動

PRTIMES



2022年度協賛企業(3/3)

(前頁続き)

シルバースポンサー



ブロンズスポンサー



協力



2022年度運営体制



運営体制については次のとおりです。

主催	行政デジタル改革共創会議実行委員会(略称:デッカイギ実行委員会) 実行委員長 庄司 昌彦(武蔵大学 教授) 実行委員 江口 清貴(国際大学GLOCOM フェロー)、 関 治之(一般社団法人コード・フォー・ジャパン)、酒井 一樹(一般社団法人コード・フォー・ジャパン、CIVICTECH.TV)、 千葉 大右(船橋市役所)、村越 功司(浜松市役所)、福島 直央(山口市役所)、主海 勇心(熊本市役所)、遠藤 芳行(大田区役所) 松下 邦彦(株式会社TKC)、北野 菜穂(一般社団法人ユニバーサルメニュー普及協会)、 木暮 祐一(一般社団法人SDGsデジタル社会推進機構)、長倉 克枝、三島 明恵
事務局	特定非営利活動法人 Digital Government Labs
後援	デジタル庁、総務省、農林水産省、神奈川県、横須賀市、 横須賀市観光協会、一般社団法人 コード・フォー・ジャパン
技術協力	UDトーク
メディア協賛	Heroes of Local Government、ぎょうせい、自治体通信／自治体通信総研、 ジチタイワークス、デジタル行政、日経クロステック

2022年度実績

2022年度参加実績



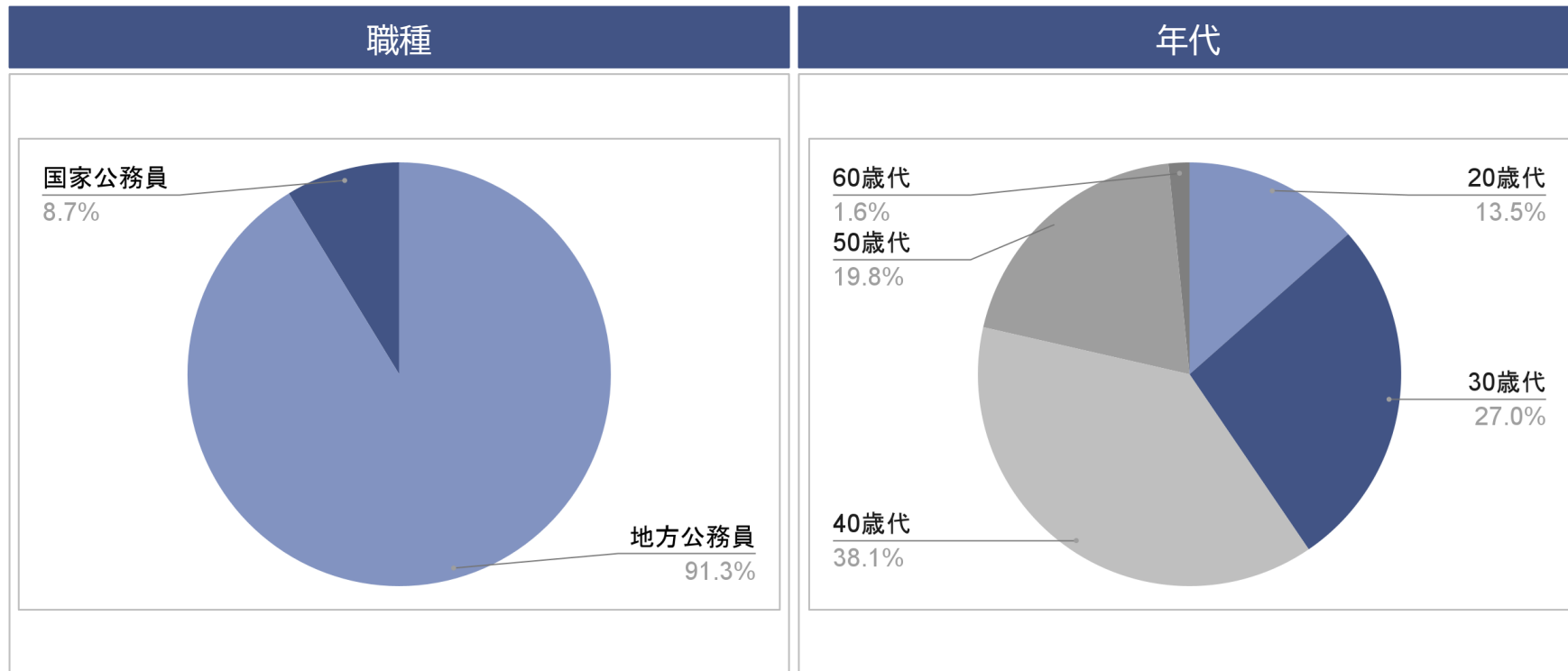
参加者数は、スタッフを含め総参加者262名、うち公務員185名でした。

公務員一般申込者		123名
協賛企業参加者		46名
登壇者 (主催者企画、公募企画)	公務員	48名
	公務員以外	10名
招待者	公務員	10名
	公務員以外	6名
当日運営スタッフ	公務員	4名
	公務員以外	15名

2022年度 公務員参加者アンケート

公務員参加者アンケート結果(1/6)

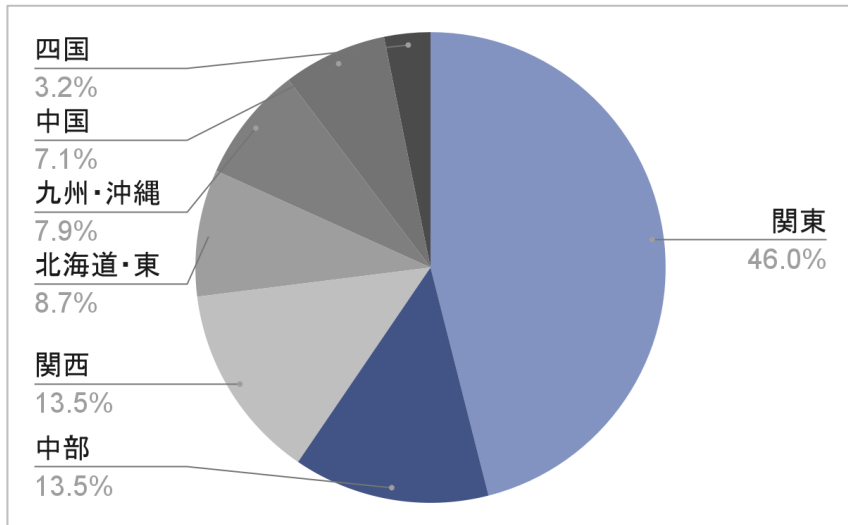
公務員参加者(一般申込者、登壇者、招待者含む)のうち126名回答に回答いただきました。



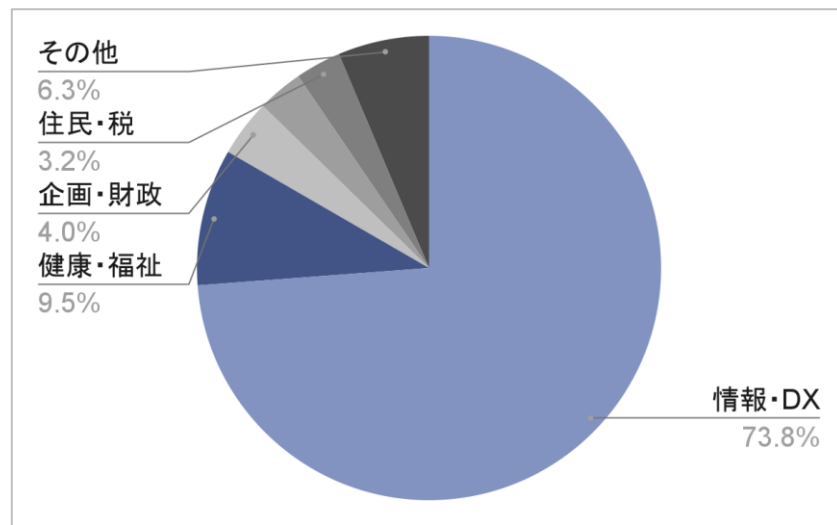
公務員参加者アンケート結果(2/6)

(前頁続き)

所属団体の地域



担当部署

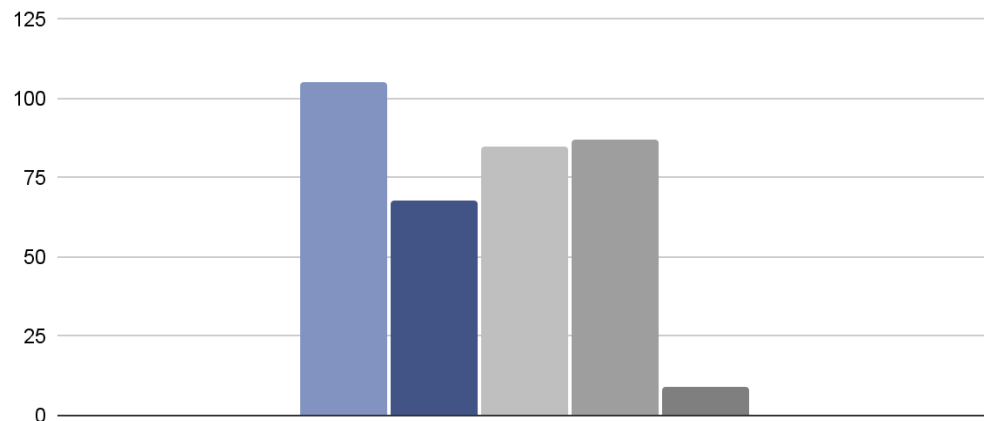


公務員参加者アンケート結果(3/6)

(前頁続き)

参加目的(複数回答)

- プログラム内容に興味があったため
- プログラムの講演者に興味があったため
- 情報収集のため
- 参加者等との意見交換、交流のため
- その他



【その他の内容】

- 登壇のため
- 布教のため
- 公募企画に応募して採用されたため
- コンテンツ運営スタッフとして

公務員参加者アンケート結果(4/6)

(前頁続き)

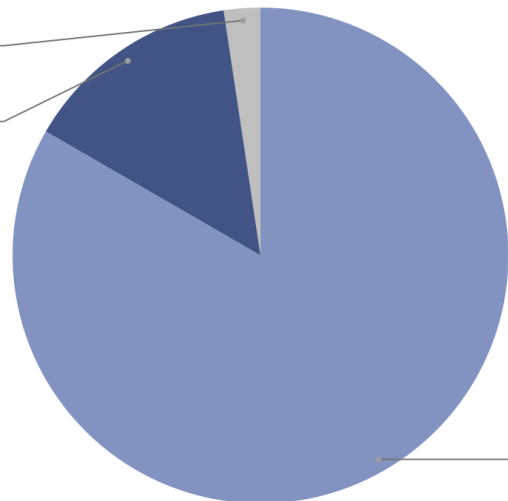
総合的な満足度

やや不満

2.4%

やや満足

14.3%



とても満足

83.3%

【理由】

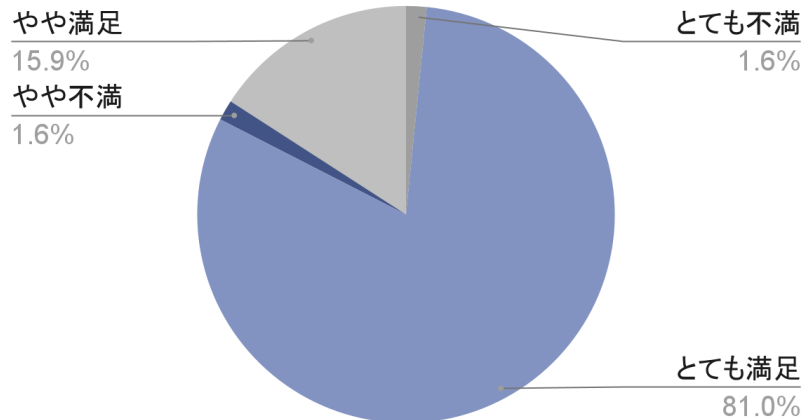
- 他のイベントには見えないようなコアな内容(VRS、マイナンバーを創る権力、黒歴史などなど)について、取り上げていただいたこと。好奇心が満たされました。しかも、あまり内輪感も無く、安心して参加することができました。
- スポンサーさんの出展内容も良かったです。ほとんどの主要な企業様と名刺交換できました。
- 全体向け講演と実務者向けの個別テーマがありよかった。
- 普段は聞けないような興味深い講演を伺えた。また、色んな方と知り合うことができた。
- 有益な情報が聞けたことと様々な自治体の人たちと交流出来たこと
- ここならではの話がたくさん聞けて、また久しぶりにリアルに会えた方々がたくさんいて、休暇使って参加して良かったです。
- 登壇者の本音が結構漏れており、「やっぱそう感じてるのか」「国はそう考えていたのか」と思ったため。
- 綺麗なドキュメントではなく、それを作成した考えを作ったご本人から直接聞けたのはとても有意義でした。
- 講演は充実していたが意見交換の場がもう少し欲しかった
- 全国の自治体や国の職員及びベンダーとリアルにつながりができた
- 事業者・主催者・公営企画全てが魅力的で全て拝見できなかったのが残念です。
- 普段拘わらない様々な自治体の方々とディスカッションできた。他自治体の素晴らしい事例、熱い想いを聞けて自身の仕事に情熱をもって取り組もうと決意しました。登さんのお話は鳥肌立ちました。
- それぞれの所属の垣根を超えていろいろな意見を聞けた貴重な機会になりました。
- 全国自治体で活躍する方々がここまで一堂に会するイベントはほかに無いと思います。セッションはどれもポジティブで、一自治体の職員としては、とても勇気をもらいました。

公務員参加者アンケート結果(5/6)

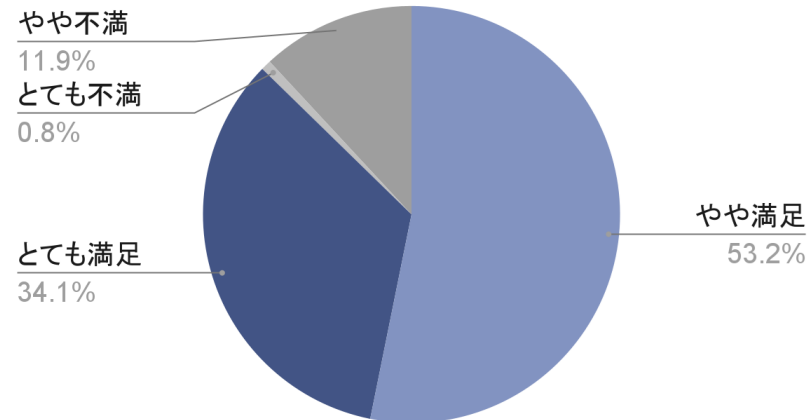
(前頁続き)

各項目の満足度①

イベントのプログラム内容について



ホワイエでの企業ブースについて



公務員参加者アンケート結果(6/6)

(前頁続き)

各項目の満足度②

参加者との交流について

やや不満

11.9%

とても不満

0.8%

やや満足

34.1%

とても満足

53.2%

会場・会場設備について

やや不満

7.1%

とても不満

1.6%

やや満足

32.5%

とても満足

58.7%

2022年度開催プログラム

2023.1.6(金)~1.7(土) ホワイエ、YRPホール等



ホワイエに、協賛企業ブース、コーヒーコーナー、受付などを設け、交流拠点としました。

YRPホール・会議室1にて、ランチタイムとコーヒープレイクに協賛企業PRセッションを実施しました。



DAY 1 2023.1.6(金) YRPホール(主催者企画)



10:30-11:00 開演&オリエンテーション

11:00-11:50 小林史明前デジタル副大臣が自治体職員と語る！～国と自治体が「共創」してみた～

小林史明(自由民主党副幹事長、衆議院議員)

千葉大右(船橋市役所デジタル行政推進課)

村越功司(浜松市役所)

※公務員限定、メディア不可



DAY 1 2023.1.6(金) YRPホール(主催者企画)



13:00-13:50 ガバメントクラウド採用4社が集結！ガバメントクラウドを乗りこなせ！

浅岡孝充(デジタル庁戦略組織グループ 総括(特命)参事官)、大富部貴彦(アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社 パブリックセクター統括本部 官公庁事業本部長)、森定生(グーグル・クラウド・ジャパン合同会社パブリックセクター本部 執行役員 本部長)、本多充(日本オラクル株式会社執行役員 クラウド事業統括 公共・社会基盤営業統括)、木村靖(日本マイクロソフト株式会社 デジタルガバメント統括本部 業務執行役員 本部長)、座長:千葉大右(船橋市役所デジタル行政推進課)

※メディア不可



14:00-14:50 オープンデータどうするんだよカイギ～自治体オープンデータのすゝめ～

石塚清香(総務省地域情報化アドバイザー)
平本健二(デジタル庁データ戦略統括)
庄司昌彦(武蔵大学社会学部教授)
座長:浦田真由(名古屋大学大学院情報学研究科准教授)



デジタル庁 事務局企画
1月 14:00-15:00

オープンデータどうするんだよカイギ ～自治体オープンデータのすゝめ～

データの重要性がさらに高まるにつれ自治体は、データ活用を推進しながら自治体からのオープンデータ提供に取り組むことが必要不可欠である。本セッションでは、自治体からのデータ提供が、自治体財政基盤の「負担が軽くなる」というリアルなメリットを同時に、利便性を確保します。

議題

- 1 オープンデータで自治体側が貢献している点とは？
- 2 オープンデータに取り組む効果・メリットとは？
- 3 今後、どのように取り組んでいきたいか？

石塚清香
総務省地域情報化アドバイザー

平本健二
デジタル庁データ戦略統括

庄司昌彦
武蔵大学社会学部教授

浦田真由(座長)
名古屋大学大学院情報学研究科准教授

DAY 1 2023.1.6(金) YRPホール(主催者企画)



15:30-16:20 デジタル庁が描く、ビヨンド2025 のトータルデザイン

楠正憲(デジタル庁統括官 デジタル社会共通機能グループ長)
松下邦彦(株式会社TKC新商品企画推進室)
座長:千葉大右(船橋市役所デジタル行政推進課)



16:30-17:20 スマートシティ最前線

多田功(加古川市企画部政策企画課スマートシティ推進担当課長)
瀧本陽一(浜松市デジタル・スマートシティ推進課長)
谷内田修(前橋市スマートシティ推進監兼未来創造部参事)
モデレーター:村上敬亮(デジタル庁統括官)



DAY 1 2023.1.6(金) 公募企画



会議室1

- 13:00-13:50 大阪モデルのスマートシティ×公民連携×WOMEN
- 14:00-14:50 小規模自治体DX:費用対効果の壁を乗り越えるために、我々はどう戦うか?—自治体仮想化構想案—
※メディア不可
- 15:30-16:20 若手職員が切り拓くデジタルガバメント
- 16:30-17:20 アナログ的視点から始める、自治体窓口業務改革(窓口DX)

会議室2

- 14:00-14:50 共創PF用の絵文字づくり
ハンズオン
※メディア不可

DAY 1 2023.1.6(金) BoF



ナイトセッション(19:00-21:00)は、5テーマに分かれて車座対話(BoF)を実施しました。

- ・「自治体しくじり先生」(公務員限定、メディア不可)
- ・「マイナンバーつまづき事例」公務員限定、メディア不可)
- ・「デジタル庁で働かってぶっちゃけどうなの？」公務員限定、メディア不可)
- ・「自治体システム標準化・ガバメントクラウド」(メディア不可)
- ・「官民連携は最強のソリューションなのでは？」

DAY 2 2023.1.7(土) YRPホール(主催者企画)



9:00-9:30 開演&オリエンテーション

来賓(神奈川県知事)ご挨拶等



9:30-10:20 「番号を創る権力」著者と、マイナンバーを語り尽くす

羅芝賢(國學院大学法学部准教授)
楠正憲(デジタル庁統括官 デジタル社会共通機能グループ長)
後藤省二(地域情報化研究所代表取締役社長、元・三鷹市地域情報化担当部長等)
座長:庄司昌彦(武蔵大学社会学部教授)



DAY 2 2023.1.7(土) YRPホール(主催者企画)



10:30-11:20 GovTech 東京で実現する共同化

宮坂学(東京都副知事)

座長: 関治之(一般社団法人コード・フォー・ジャパン代表理事)



11:30-12:20 河野太郎デジタル大臣と自治体職員
が自治体DXを語る

河野太郎(デジタル大臣)

及川涼介(裾野市副市長)

佐藤泰格(都城市デジタル統括課)

※メディア不可



DAY 2 2023.1.7(土) YRPホール(主催者企画)



13:30-14:20 行政デジタル改革を確実に進めるために、黒歴史を振り返る

国領二郎(慶應義塾大学総合政策学部教授)、後藤省二(地域情報化研究所代表取締役社長、元・三鷹市地域情報化担当部長等)、庄司昌彦(武蔵大学社会学部教授)、座長:浅川直輝(日経BP 日経コンピュータ編集長)



15:00-15:50 けしからん! 登さんと自治体職員が行政デジタル改革を考える

登大遊(独立行政法人 情報処理推進機構 産業サイバーセキュリティセンターサイバー技術研究室長)、今野薫(由利本荘市情報政策課)、玉置真悟(和歌山県庁情報政策課副主査)、座長:長倉克枝(日経BP 日経クロステック 日経コンピュータ記者)



DAY 2 2023.1.7(土) 公募企画



会議室1

- 9:30-10:20 会計 × 情報 内部事務DXを語り尽くす
- 10:30-11:20 みんな、システム標準化の仕様書読んでる？
～電子予診票推進計画～
- 12:30-13:20 全自治体共通課題の解決！アナログから脱却！法人による住民票の写しの郵送請求デジタル化
- 13:30-14:20 共創PFユーザーミーティング
※公務員限定、メディア不可

会議室2

- 12:30-13:20 自治体から国・民間への出向ってどうなの？出向者が振り返る(会議室2)
※メディア不可
- 15:00-15:50 自治体手続きDXを行うためのデータを揃えてみたので議論してみたい

DAY 2 2023.1.7(土) YRPホール(主催者企画)



16:00-16:30 クロージング

来賓(横須賀市副市長)ご挨拶、実行委員長総括



2022年度 主なメディア掲載実績

2022年度主なメディア掲載実績



複数のメディアに、イベント開催を取り上げていただきました。

2023/1/19,20掲載	『日経クロステック』 (日経BP、Web)	https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/02326/011600002/ https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/02326/011900003/
2023/2/2掲載	『日経コンピュータ』2023年2月2日号 (日経BP、雑誌)	https://xtech.nikkei.com/pdf/NC/20230202/5512630/?ST=nxt_pdfdl
2023/2/10掲載	『自治体通信』 (イシン、雑誌)	—
2023/4/10掲載	『行政&情報システム』2023年4月号 (一般社団法人行政情報システム研究所、 機関紙)	https://www.iais.or.jp/articles/articlesa/20230410/20230410/

テクノロジーカイギ



BEYOND 2025